

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中学生の部



令和五年九月度 入賞句一覧 投句数 千三百九十八句

特選

高木 恵理 選

もぐつたらあおとみずいろなつのうみ

大垣市

三輪 優斗(小一)

本来水の色は無色透明です。でも、時間や場所によつて、濃い青色に見えたり、明るい水色に見えたりします。作者は、実際に海にもぐつてその美しさに感動したので、すね。「美しい」と直接的には表現していませんが、この俳句をよめば、その感動が伝わってきます。さらに、人間を包み込む自然の優しさも伝わってくる俳句です。

明り消しみんなで探す流れ星

大垣市

杉野 実咲(小五)

「流れ星」は秋の季語です。実際に星が流れるわけではなく、宇宙の塵なんだとか。高原では、降るように流れ星が見られるのですが、そこでもやはり人工的な光を消していると聞きました。さて、作者は部屋の明りを消した後、流れ星を見ることのできたのでしょうか。夜空は広く、宇宙は果てしなく続きます。人間がとても小さな存在に見えてきます。

ゆかた着てかみもとのえ行つてきます

大垣市

寺澤 美琴(小五)

今年の夏は、多くの夏祭りが復活しましたね。どんなに暑い日でも、浴衣を着ている人を見ると、とても涼し気な気持ちになります。おしやれな作者は、浴衣をまっただけでなく、髪もきれいに結つたのでしようね。かわいらしい髪飾りまで見えてきます。「行つてきます」という言葉が、作者の高い品性を感じさせます。

秀逸

うみへいきこころゆくまでおよいだよ

大垣市

杉野 りょうた(小四)

しよくよくのあきはおかおがまんまるだ

大垣市

中切 淳仁(小二)

よーいどんよこにならんだ赤とんぼ

大垣市

住田 羅奈(小二)

雨あがりもうだいじょうぶとせみが鳴く

大垣市

杉野 実咲(小五)

早起きし家族みんなで墓参り

大垣市

杉山 遼(小五)

コオロギが植木ばちから現れる

大垣市

伊東 希実(小五)

ねむれない旅行の前の暑い夜

大垣市

渡邊 悠生(小五)

コスモスの揺れる小路を曲がつてく

川辺中学校三年

堀井 咲来(中三)

甲虫空に向かつて角を見せ

川辺中学校三年

渡辺 かずは(中三)

とおくなるまた遠くなる秋の空

川辺中学校三年

丹羽 涼香(中三)

# 入選

ふうりんがちりんとなるよいい音だ	大垣市	小坂 ちさ(小四)
みのむしはかぜにゆられてもおちない	大垣市	高木 優真(小六)
秋の虫とても小さな音楽家	大垣市	宗宮 花純(小六)
ドカーンとおおきなおとでさくはなび	大垣市	小野 薫乃(小六)
ゆめのよう金しようとつたよ夏休み	大垣市	林 芽生(小二)
ながのけんことはとつてもあつかつた	大垣市	みや本 ちゆ(小二)
うんどうかいじぶんがんばれおうえんだ	大垣市	山田 桔平(小二)
らいねんもあさがおさいてくれるかな	大垣市	ひらさわ えいと(小二)
日記読み夏の思い出あふれだす	大垣市	渡部 美響(小五)
家からの花火を見てもきれいだな	大垣市	児玉 涼那(小五)
カレーにはいろとりどりの夏野菜	大垣市	たなはし はるか(小五)
植物にたいようあたる夏の朝	大垣市	竹下 刹那(小五)
手をむねに願いよ叶え流れ星	大垣市	藤田 彩花(小五)
ぜん力ではしつて一ばんうんどうかい	大垣市	山本 晴大(小三)
緑からちやいろに変身ねこじやらし	大垣市	遠藤 愛來(小五)
皿の上银杏のからわり終わる	大垣市	田中 咲希(小五)
空の雲みあげて帰る秋の夕	大垣市	加藤 和真(小五)
熱おびて地球を照らす満月だ	大垣市	牛田 千絢(小五)
お祭だたいこたたいて盛り上がる	大垣市	高木 はやと(小五)
自転車で笑い合う昼稲穂道	加茂郡川辺町	小田 憩(中三)

# 小中学生の部

# 選者吟

折り鶴の色あせていて秋の風

恵理

